

日独国際シンポジウム

# ドイツの省エネ住宅政策に学ぶ

## ～これからの北海道に求められる住宅～

2015年3月26日(木) 13:30～17:00(開場13:00)

入場無料 事前申込が必要です。

【会場】札幌市教育文化会館 小ホール 札幌市中央区北1条西13丁目

同時通訳あり

積雪寒冷地である北海道において、住宅の高断熱・高气密化はエネルギー削減そして地球温暖化対策にとって喫緊の課題となっています。本シンポジウムでは、省エネ住宅の先進国であるドイツにおける住宅の省エネ化に向けた政策やプラス・エナジーハウスなどの技術について、本国の行政担当者や民間の技術者が解説するほか、日本からも寒冷地における省エネ住宅の先進的事例を紹介し、また、両国における「省エネ住宅の普及に向けた展望」についてパネルディスカッションも行います。



開催プログラム ※プログラムは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

基調講演 13:30-14:50

寒冷地における省エネ住宅の動向と事例紹介 福島 明 氏 北海道科学大学 工学部建築学科 教授

ドイツ・プラスエナジーハウスの建設と事例紹介 ハンス・ディーター・ヘグナー 氏 ドイツ連邦環境建設省 持続可能な建設部部長

ショートプレゼンテーション 14:55-15:30

日独の省エネ住宅普及に向けた政策

「ドイツにおける住宅評価システムの変遷と省エネ住宅の推進方策について」 マンフレッド・ラウシェン 氏 エコセンター NRW 代表取締役

「省エネルギー性に優れた住宅に対する支援方策について」 独立行政法人 住宅金融支援機構

「札幌版次世代住宅基準の普及に向けた取組について」 札幌市都市局市街地整備部住宅課

パネルディスカッション 15:40-17:00

寒冷地における省エネ住宅普及に向けた展望 ～日独の動向を踏まえて

ハンス・ディーター・ヘグナー 氏 ドイツ連邦環境建設省 持続可能な建設部部長 マンフレッド・ラウシェン 氏 エコセンター NRW 代表取締役 ドイツ住宅供給公社

福島 明 氏 北海道科学大学 工学部建築学科 教授 山本 亜耕 氏 山本亜耕建築設計事務所 川本 謙 氏 (株)土屋ホーム取締役副会長

山田 博人 氏 一般財団法人北海道建築指導センター 理事長[コーディネーター]

■お申し込み方法/市有施設等で配布している申込書に必要事項を記載し、FAXでお申し込みください。

■お申し込み先/(独)住宅金融支援機構 FAX:011-271-5609

※受講料はございませんので、当日、直接会場にご来場ください。※お申込みは、先着順となります。定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。(締切後にお申込みいただいた場合には、こちらからご連絡いたします。)  
※取得した個人情報は、本シンポジウムの企画・運営・実施のために使用し、厳正に管理します。

お問い合わせ 札幌市環境局環境計画課、都市局住宅課 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 TEL 011-211-2877・011-211-2807

住宅金融支援機構 北海道支店 営業推進グループ 〒060-0003 札幌市中央区北3条西13丁目3番13 TEL 011-261-8306 【営業時間】月～金曜日 9時～17時(祝日除く) <http://www.jhf.go.jp/>

●主催:札幌市、独立行政法人 住宅金融支援機構 ●協力:北海道住宅通信社

定員  
300名